

感染症対策のために

【車両の対策】

東横インバスでは浮遊ウイルス対策の一環として、バス車両に「低濃度オゾン発生器」、もしくは「空気清浄機・空気清浄モニター」を取り付け、運行中に稼働させています。

また、強制換気を行い、空気の入替えをしております。



【乗務員等の対策】

東横インバスでは、乗務前点呼の際に、運転士の体温と血圧を測定し、発熱等がみられる場合は乗務させません。乗務しない従業員についても出勤後、体温測定をしています。